



令和元年 6月の園だより



みみよう保育園

【あそびを通して】

先月はまだ5月というのに、気温が30度の真夏日になるなど、季節外れの暑さになりました。この時期は、まだ身体が暑さに慣れておらず熱中症になりやすいといわれます。特に乳児期の子どもは、体温調節が十分にできないので、水分をこまめに摂ったり、子どもの顔色や様子を見て戸外で遊ぶ時間を調節しながら、気を付けていきたいと思えます。ご家庭でも、食事や睡眠が十分にとれていなかったり、具合が悪い時は、登園時にお知らせください。体調の変化に気をつけながら、お部屋でゆっくり過ごすなど対応させていただきます。

昨年より当園では、月に一回程度、絵画造形作家の戸川幸一郎先生にお越しいただき子どもたちと遊んでもらっています。戸川先生は、『いつもどんなあそびも「たのしいことが一番」と言われており、その「たのしさ」から多くの「学び」が生まれ、豊かなあそびの経験が、新しい時代を造る柔軟な心や身体を育てる』と考えられています。戸川先生には、上手に絵を描いたり作品を作ったりすることを教えてもらうというのではなく、特に乳児期は、水や土、新聞紙、空き箱、ペットボトルなどの様々な素材、自然物で遊びながら、興味のある物に触れて感じたり、いろいろなことに気付いたり発見したりするなど、あそびの中でたくさんの経験をしています。

先日は、いろいろな大きさの空き箱を用意して、2歳児のきりん組さんと一緒に、箱を積み上げたり、穴を開けて紐を通してみたり箱の中にいろいろな物を入れては、中から何が出てくるのかを楽しんだりして遊びまし

た。特別な材料が用意されたわけではありませんが、子どもたちの様子に合わせてあそびを変化させたり、側で大人と一緒に楽しみながら遊ぶことで、1時間近く遊び続けていました。まなざしを向けてくれ、一緒に喜び合い遊んでくれる大人が傍にいるから、よりあそびが楽しく豊かになり、子どもは満足するまで遊ぶことができるということを改めて感じました。あそびの中で得る満足感や達成感が、「やってみよう」「もっとやりたい」という次への期待を高めていきます。同時に、あそびに区切りをつけて次の活動へ気持ちを切り替えていくことができるようになったり、幼児期以降に向けて、今は何をやる時なのかを考え行動する状況判断にもつながっていくのだと思います。また、遊んだ後は片づける、戸外から帰ったら靴を納めて手を洗うことなどの生活習慣も、その都度声をかけながら、身につくよう促していくことが必要です。生活習慣は大きくなったから身につくものではなく、小さい時からの積み重ねです。「三つ子の魂百まで」と言われています。根気よく丁寧に伝えていきたいですね。

今年度も「0歳からの幼児教育・選択と集中」をテーマに保育をすすめています。今回の戸川先生とのあそびでも、子どもたちがあそびを自ら選び、2歳児であっても集中して長時間遊ぶ姿がみられました。これからも乳児期のあそびの中でのたくさんの経験が、将来子どもの意欲や主体性、状況判断をする力につながっていくを見通しながら、私たちは楽しい保育をすすめてまいりたいと思います。

園長

運動会

日時： 6月8日(土)
9:00~12:30
場所： 東雲本町公園



一雨天の場合、翌9日(日)ー
※翌日も雨の場合12日(水)になります。

すでにお知らせいたしましたように、こちら、こじか組さんは自由参加といたします。

きりん組さんは、後日ミニコミで詳細をお知らせします。またご家族皆さんで楽しめるプログラムも用意しています。どうぞ楽しい一日をお過ごしください。

汗をかく大切さ

これから梅雨に入り、暑い日が続くと冷房の中での生活が多くなります。

冷房の効いた部屋の中では、快適に過ごすことはできますが、ずっとその中で汗をかかずにいると、体調を崩しやすくなることもあります。

子どもにとって汗を出すということは、どんな意味があるのでしょうか。汗を出す汗腺は、生まれた時に既に300万個持っています。この汗腺は生後3歳までの間にしっかり汗を出す生活をしていないと機能しなくなり、汗が出にくい体になってしまうそうです。その結果、体温の調節が上手くできなくなったり、熱中症などになりやすい体質になってしまうということです。

いっぱい汗をかいて遊んだ後は、シャワーをして肌を清潔に保ち、水分補給を十分に行い、冷房を上手に使いながら、暑い夏をのりきっていきましょう。

子育て応援メッセージ

卵焼きって
まるで
子育てのよう



食べておいしい卵焼き。つくり方はとても簡単。でも、繊細。卵の溶き方、味のつけ方、焼き方、巻き方…、さまざまな方法があって、すべて自分流ですよね。子育ても、その時々状態に合わせて、砂糖や塩の加減を少し変えてみては？

(社)全国私立保育園連盟
子育てメッセージより

中・高校生保育体験実習

今年も県立広島工業高等学校の、お兄さんお姉さんが家庭科の授業の一環として実習に来ます。子どもたちは、力いっぱい遊んでくれるお兄さん、お姉さんが大好きです。そして、生徒さんたちも楽しく遊んでいるうちに子どもたちをかわいいと思ってくれるようになります。子どもの気持ちが分かるやさしいお父さん、お母さんになってくれることを期待しています。

また、5月の段原中学校の生徒さんに続いて、翠町中学校の生徒さんも職場体験に来てくれます。

体験を通して保育のお仕事の楽しさを味わってもらえたらと思います。